

乙女高原ファンクラブ 2016年度

活動報告(ダイジェスト版) 2016.3.~2017.2.

■こんな1年間でした

1. 1年間で10名の入会者があり、現在、総入会者数は686名。
2. 活動への参加者数はのべ846人(2004年度:811人,05:1200,06:1378,07:1344,08:1253,09:1176,10:834,11:758,12:590,13:660人,14:630人,15:699人)。
3. 山本さんの呼びかけにより、毎月第一土曜に乙女高原へ行く自然観察交流会を実施。
4. 環境省/日本自然保護協会によるモニタリング1000里地里山調査のアカガエル産卵調査は3年目。合計で29腹の卵塊を観察(2014年度:35腹,15年:42腹)。
5. 山梨市駅前の街の駅にて、乙女高原の常設展示開始。シーズン1は古屋さん写真展。2は鈴木さん写真展。3は古屋さん2。4は草刈り。5はフォーラム。
6. 第17回遊歩道作りを実施。短時間で作業終了した。
7. 6年目となるスマレ観察会。5月に2回。スマレハイクを4月に初実施。講師は案内人・依田さん。また、6月には有志で黄色いスマレハイクを実施。
8. 6月・9月に特定のコドラートで時期をかえて草を刈る「草刈り実験」実施。指導は元麻布大の高槻さん。4年目。
9. 6・8・9月と年3回のマルハナバチ調査を実施。14年目。個体数には回復傾向。
10. 山本さんの呼びかけで夏休みのボランティアガイドを復活。4日間実施。
11. 11月23日に第17回草刈りボランティアを実施。260名が参加。栄和交通により山梨市駅からの送迎バス運行。(株)田丸の協力で、刈り草を琴川ダム残土処分場に搬入。ブナじいさんの根元に落ち葉をかけるキッズボランティア実行。
12. 草刈りボランティアでカヤネズミの地表巣が発見される。その後の調査で、草原内で53個のカヤネズミ地表巣を発見。
13. 第16回乙女高原フォーラムに64名の参加者。テーマは「湿地のゆるキャラ!?谷地坊主の秘密」。講師は神奈川の勝山智男さん。小6の服部君の作文朗読が講評だった。昨年に引き続き、終了後、懇親会。翌日は講師をお連れして乙女高原へ。
14. 次の団体から助成金を拝受。
山梨市/乙女高原保護活動事業補助金(7万円), 田丸グリーン基金(10万円), 富士ゼロックス/富士ゼロックス端数倶楽部(10万円), あいおいニッセイ同和損保(313,470円…2年分), イオン石和/マックスバリュ東海(14,000円)
15. 計9回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催し、各行事の計画を立てたり、実施後の反省を実施。連絡会議は山梨県・山梨市の担当者を交えて開催。
16. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行。
17. メールマガジンを年25回配信し、ホームページを更新。
18. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続。
19. 山梨ロータリークラブより樹名板19枚を拝受。設置は来年度に。
20. 遊歩道づくり, 草刈りボランティア, 乙女高原フォーラムは県・市との共催事業。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思ひます。

■ 1年間のおもな活動の足跡 乙女高原ファンクラブ 2016

■ 3/5 乙女高原観察交流会



案内人の山本さんの発案で、毎月第一土曜日に有志で乙女高原で自然観察することに。3月の参加者は7人。はアカガエル産卵調査と兼ねて行った。
9:00-15:00

■ 3/13 2015年度定期総会



牧丘総合会館にて。出席13名。委任状105名。2015年度の振り返りと2016年度の活動計画について検討。10:00-12:00

■ 4/2 アカガエル産卵調査



環境省と日本自然保護協会によるモニタリング1000里地調査への参画。3/21, 3/27, 4/2, 4/16, 4/30の5日間調査。のべ13人。合計29の卵塊をカウント。
9:00-15:00

■ 4/10 街の駅やまなし展示



山梨市駅前の街の駅やまなしの一角を借りて乙女高原の常設展を始めた。シーズン1は古屋光雄写真展。

■ 5/7 スミレ・ハイキング



参加者19名。鼓川温泉駐車場に集合し、乗り合わせて林道の遊歩道入り口へ。そこから歩いて乙女高原に向かいスミレ観察。講師は依田さん。9:00-15:00

■ 5/15 第17回遊歩道作り



参加者74名。田丸グリーン基金や山梨ロータリークラブなど団体参加ありがたい。熱中症対策のペットボトル茶が有効だった。9:30-12:30

■ 5/15 第1回スミレ観察会



参加者25名。3班体制で湿地遊歩道などでサクラスミレ類を中心に観察。講師は依田さん。
13:30-15:30

■ 5/28 第2回スミレ観察会



参加者9名。エゾノタチツボスミレ、ソラムキタツボスミレ、アカネスミレなどをクリンソウとともに観察。講師は依田さん。
10:00-14:30

■ 6/4 黄色いスミレウオッチ



参加者6名。山本さんを案内人に、キバナノコマノツメが群生している場所まで林道ハイキング。10:00-15:00

■6/19 草刈り実験①



元麻布大学教授の高槻先生の指導のもと実施。参加者4名。草刈りの時期を変えた10m四方のコードラートを設定し、草刈り時期の違いによる植生への影響の違いを明らかにする。
10:00-12:30

■6/26 マルハナバチ調べ隊①



参加者7名。ラインセンサス調査結果は2頭。午後からの観察会ではたくさんのブナの実生を観察することができた。
10:00-14:00

■8/6 マルハナバチ調べ隊②



参加者13名。ラインセンサス調査79頭。マルハナバチ個体数に回復傾向が見られた。シカ柵の成果か。午後から待ち伏せ調査を実施。10:00-14:00

■8/6 夏休みの案内活動



山本さんの発案で、夏休み中の土日、乙女高原案内人有志が交代で、乙女高原の案内活動を実施。のべ14人の案内人が参加。

■9/3 マルハナバチ調べ隊③



参加者8名。ラインセンサスで68頭のマルハナバチをカウント。午後から待ち伏せ調査を実施。10:00-14:00

■9/18 草刈り実験②



参加者5名。高槻先生の指導で方形区内の植生調査をし、「6月・9月区」と「9月区」の方形区内の草を刈った。
10:00-16:00

■11/23 第17回草刈りボランティア



参加者260名。キッズは落ち葉を集め、ブナ爺さんに。(株)田丸よりゴミ収集車をお借りし、刈り草を残土処分場へ。駅からの送迎バスを運行(初)。9:30-13:00

■12/10 など カヤネズミ調査



草刈り時に見つかったカヤネズミの巣。草原内を4日かけてくまなく探し、53個の巣を発見し、記録した。10:00-14:00

■1/29 第16回乙女高原フォーラム



夢わーく山梨にて。「湿地のゆるキャラ?! 谷地坊主の不思議」をテーマに神奈川県立博物館の勝山輝男さんをゲストに迎えて。参加者64名。13:00-15:30

■乙女高原ファンクラブまで。乙女高原ファンクラブから。

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。
2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
2000.10 「乙女高原の森」連絡会議「乙女高原の森の保全および活用に関する提言」を県に提出。
2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。
- 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足** 発足記念映画会 吉永小百合『明日は咲こう花咲こう』
- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新游歩道開設。
2001.11 乙女高原ファンクラブ公式ホームページ公開開始。
2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方
2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）
2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）
2003.6 イタドリ刈り取り実験用コドラート設置
2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）
2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲
2003.10 土壌観察会（筑波大学土壌環境化学研究室と共催）
2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始
2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）
2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）
2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）
2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）
2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
2006.9 コカ・コーラ環境教育財団より環境教育賞主催者賞をいただく。
2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
2007.3 石和サティの「しあわせの黄色いレシートキャンペーン」に参加。
2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイドⅡ『マルハナバチ』を作成。
2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）
2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイドⅠ『お花たち』を改訂増刷
2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選
2009.11 第10回草刈りを記念し、多大な貢献のあった10団体に感謝状と記念品贈呈
2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート
2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。
2010.11 乙女高原が山と溪谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。
2011.5-6 3回のスマイレ観察会を実施。
2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。
2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。
2012.1 乙女高原フィールドガイドⅢ『スマイレ』を発行。
2012.8 自主的に百葉箱を設置、ベンチ・テーブルの修理と新設、案内板を修理。
2013.6 **新事業**・草刈りの時期を変えて草刈りの効果を確認する刈り取り実験。
2013.11 11年分のメールマガジンを編集した『乙女高原大百科』を刊行。
2014.3 環境省/日本自然保護協会のモニタリング1000里地調査に参加。アカガエル産卵調査を開始。
2015.8 **新事業**・谷地坊主の観察会
2015.11 乙女高原を取り囲むシカ柵完成（市の事業による）
2016.4 **新事業**・街の駅やまなしにて、乙女高原(ファンクラブ)の常設展開始
2016.11 **新事業**・草刈りボランティアに山梨市駅からの送迎バス運行

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

●郵便振込● (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ